

笑顔の「ごみゼロ」街に

水谷孝次さん
呼びかけ
栄や公園で
700人が汗

「ごみゼロの日」の30日午後、笑顔が印刷された緑のごみ袋と火ばしを持った若者約700人が約2時間、名古屋・栄の繁華街や公園で一斉にごみ拾いをした。愛知万博「愛・地球広場」の大画面に、世界約20カ国で撮影した笑顔を上映している「メリーエクスポ」のアートディレクターで、名古屋・大須の出身である水谷孝次さん(54)が呼びかけた。

参加したのは名古屋市などの美容や理容、デザイナーなどの専門学校に通う学生たち。白地に緑の文字の入ったおそろいのTシャツでオアシス21の広場に集まった。

水谷さんは「ごみ拾いだけが目的ではなく、ごみを拾う姿を見せて、ごみが捨てられない街にしましょう」とあいさつ。モリゾーとキッコロの着ぐるみに送られ、若者たちは、植え込みなどに捨てられた瓶や缶、ペットボトルやたばこの吸い殻などを拾い集めた。

●街頭でごみを集める若者①一斉ごみ拾いに集まり、説明を聞く参加者②いずれも30日午後、名古屋市東区東桜1丁目で

